

KITAKYUSHU MISSION START!

一般事務員 心理



保健福祉局 精神保健福祉センター

宮成 祐輔 (平成28年度入職)

入職後の経歴		
平成28年度	入職	保健福祉局 地域リハビリテーション推進課
平成31年度	異動	保健福祉局 障害福祉企画課
令和4年度	異動	保健福祉局 精神保健福祉センター



Q 北九州市役所を志望したきっかけを教えてください。

A 入職する前は、精神科病院で臨床心理士として働いていました。心理職として経験を積む中で、医療だけでなく様々な分野の業務に挑戦したいという考えが強くなりました。色々と調べると、北九州市役所であれば、児童相談所業務をはじめ、自分がこれまでに経験したことのない新しい分野の仕事ができるのではないかと思います、志望しました。

Q 現在担当している業務の内容を教えてください。

A 依存症対策の業務を主に担当しています。薬物やギャンブルの問題に悩む人や、その家族からの相談を受けることはもちろん、依存症の方本人が参加する回復プログラムや、依存症の方の家族を対象とした家族教室も実施しています。その他にも、依存症に関する支援者向けの研修会の企画などを担当しています。

Q 業務を遂行するために、どんなことを学んだり意識したりしていますか。

A 依存症というと薬物やギャンブルといった依存対象の物質・行動が注目されがちですが、大切なのは、背景にあるその人の悩みや生きづらさを理解することです。相談に来られた方の考えを尊重し、気持ちに寄り添うよう心がけています。

Q 北九州市職員として働いていてよかったと感じる点を教えてください。

A 業務に関係する研修を受けられる機会が多く、知識の習得や技術の向上を図ることができる点です。また、部署を越えて心理職が集まる会議も定期的で開催されており、心理職同士で意見交換できる機会があるのも心強いです。

専門知識をいかして様々な業務を経験できます。

Q 職場の雰囲気や働きやすさについて教えてください。

A 精神保健福祉センターでは、精神科医、保健師、社会福祉職、心理職、一般事務員など、様々な職種の職員が力を合わせて業務に取り組んでいます。そのため、業務を進める上で様々な視点から助言をもらうことができます。また、困った時には上司や同僚も親身になって相談に乗ってくれるため、とても働きやすい職場です。

Q 北九州市役所で働くことに興味を持つ皆様へ向けて、メッセージをお願いします!

A 北九州市役所では、心理職としての専門的な業務はもちろん、それ以外にも様々な業務に挑戦するチャンスがあります。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

MISSION

Q 北九州市役所であなたがクリアしたいミッション(夢)を教えてください。

A 心理職としての専門性を高めるとともに、市政について幅広い知識を習得し、多くの人の役に立つ職員になりたいと思います。そして、市民の方々が暮らしやすいまちづくりに貢献したいと考えています。

